

大会感染対策について

1. 参加・入場者の体調管理

- ・個人の健康チェックシートを記入する(大会当日0日とした4日前からの体調管理)
- ※大会当日にチーム責任者へ提出して、チームで保管(保管期間2週間)
- ・チームごとの入場者リストを作成し、感染対策担当者へ提出する
- ※審判協力等の個人での入場者はチェックシートを提出
- ・大会終了後から2週間の体調をチェックシートで管理する

2. 会場対策

- ・会場ではマスクを着用し、不必要な会話は控える
- ・会場では出入口、TO席、ベンチ等にアルコール消毒液を設置し、常時手指消毒が可能な環境を整える
- ・試合に支障がない範囲で非常口を開放し換気を行う(栗林アリーナを除く)
- ・換気の難しい場所(更衣室等)の利用については、短時間の利用にとどめ、混雑している時は密集しないよう配慮する
- ・観客席はチームごとに指定した位置に座り、隣の人と間隔を空ける
- ・試合間の飲食は隣の人との間隔を保ち、黙食を徹底する
- ・各体育館では接触を避ける移動ルートに従う
- ※別紙参照
- ・保護者の入場は1チーム15名までとし、試合開始30分前から入場し、試合後は速やかに退場する(自チームベンチの向かいを応援席とし、それ以外での応援は禁止する)
- ※声を出しての応援や会話の禁止、応援席使用後は消毒をする
- ・ベンチ登録以外のコーチ・スタッフの入場を認める
- ※アップ対応やTO対応等がない場合は観客席の自チームに待機する
- ・入場するスタッフ、保護者はチーム名プレートを着用する
- ・ゴミは各自で持ち帰り、使用済みマスク等を会場に捨てない

3. 試合対策

- ・ベンチはジグザグに設置し、密を軽減する
- ・試合開始前の円陣、声出し、試合中の応援、ハイタッチを禁止する
- ・競技中はマスク着用の必要はないが、ベンチ着席時はマスクを着用する
- ※TOもマスク着用
- ・ベンチタオルは個人で用意したもののみとし、共用タオルは禁止する
- ・ベンチでの給水は個人で用意したボトルで行い、共用ボトルは禁止する
- ・試合後の対戦相手、保護者席への挨拶は控える
- ・試合後、使用したベンチ席やTO器具は消毒する
- ・マスクを外しての指示を禁止する(指導者等)
- ・審判はホイッスルカバー又はレフェリーマスクを着用し、タイムアウト、クォーター間で適宜手指消毒を行う